

指導案検討会用 確認シート（実践例）

～授業で「目指す子どもの姿」を確認し、「ねらい－学習課題・めあて－学習活動－まとめ・評価」等の整合を図るために～

※「目指す子どもの姿」…ここでは教科等の指導における目指す子どもの姿

1 本時の授業の「ねらい」と「評価規準」の整合等の確認

□本時の授業が、単元・題材全体の流れの中で、どのような位置付けになるのかを確認する。

本時の授業の「ねらい」	
本時の授業の「評価規準」	

「ねらい」が明確で分かりやすい 「評価規準」が「ねらい」を実現した子どもの姿となっている
 「ねらい」「評価規準」は、学習指導要領や単元・題材の指導計画、前時・次時の学習と整合している

人によって解釈が異なりそうな言葉	具体化した言葉の捉え
(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

□本時の授業で「身に付けさせたい力」と、その「レベル」（何が、どのくらい〔質的・量（数）的〕できるようになればいいのか）が具体的に理解できた

2 本時の授業の「ねらい」を実現させるための学習活動等の確認

本時の授業の「ねらい」「評価規準」と「学習活動」等の整合を図る	補足
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学習指導案 「本時の活動」 貼付 </div>	<p>①（ ）内はチェックの際に確認したい事項例 ②チェック項目の順番は学習の流れとは異なる</p> <p>主に学習活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 自校の「研究主題」「共通実践事項」等を意識した学習活動となっている（学校の教育目標、教科の研究主題、「学校教育の指針」「南の要覧」等の重点 等） □ 本時の「ねらい」が実現できる学習活動となっている（目指す子どもの姿、「ねらい」と「学習課題」の整合、既習事項の活用、発達の段階、適度な難易度、時間配分、学習活動や学習内容の精選 等） □ 子どもたちの解決したいという意欲を持続させ、課題を解決できるようにするための工夫がある（実態把握、個に応じる手立て、導入・展開・終末の工夫、学習の見通しをもたせる手立て、子どもが解決したい「問い」、支援策、教室環境、学びの充実感をもたせる手立て、ICTの活用、生活や職業との関連 等） □ 他者との関わりを通して主体的・対話的に課題等を解決していくための工夫がある（前提となる個の考え、学習形態の選択と期待する効果、学び合い、振り返り、言語活動の充実 等） □ 安全に対する配慮が行き届いている（作業等の注意事項、環境整備、安全確保のための用具 等） <p>主に評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 指導の改善に生かすことができる評価であり、評価方法は具体的で全員を見取ることができるものとなっている（複数の評価方法、評価のタイミング、評価結果の授業時間内フィードバック、目指す子どもの姿 等） □ 「十分満足できる」状況の子どもの姿が意識され、その姿が実現できる学習活動となっている（「質」の高まり、状況変化への対応能力 等）

3 その他

- 教師の授業中の指示等を精選し、関わりすぎを少なくしようとする意思や工夫がある
- 授業時間内での完結、振り返りの時間の確保等を強く意識している